

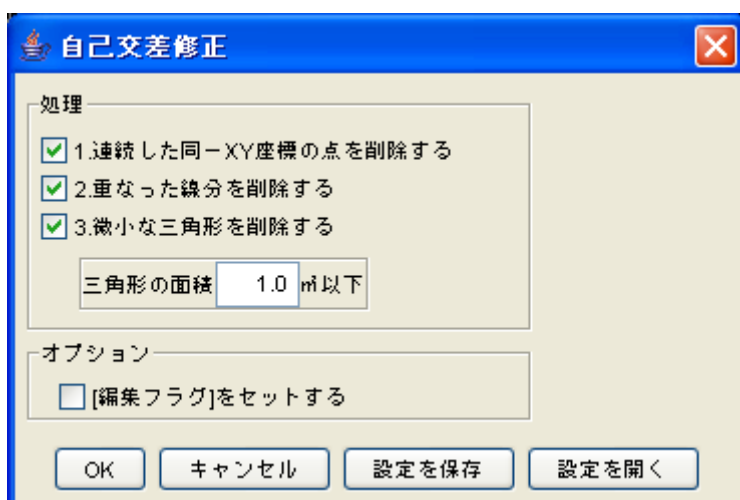
基盤地図情報作成検査ツール バージョン 1.25 更新記録

2009/03/15
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 自己交差修正

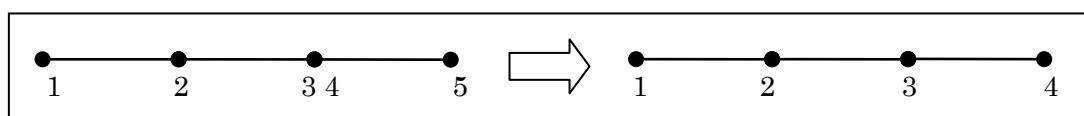
新メニュー[一括処理]-[自己交差修正]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

等高線や建築物の外周線などについて、一部のタイプの自己交差を一括して修正します。このメニューは開いているポリゴンとポリラインシェープファイルすべてについて処理を行います。



1.連続した同一 XY 座標の点を削除する

前処理として、同一座標の点が連続している場合削除します。

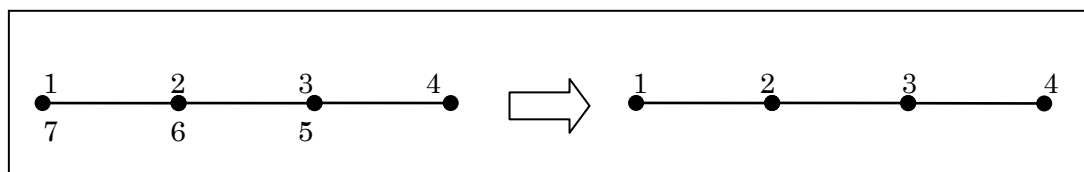


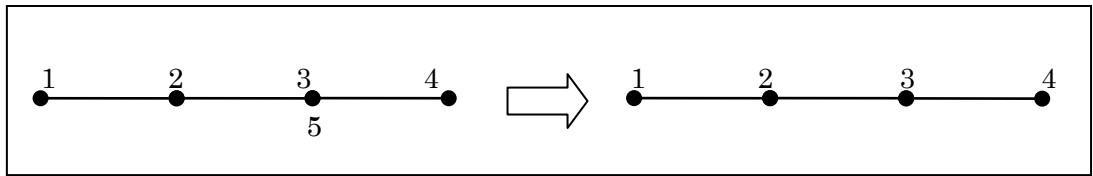
2.重なった線分を削除する

重複した線分を削除します。処理は次の2パターンです。

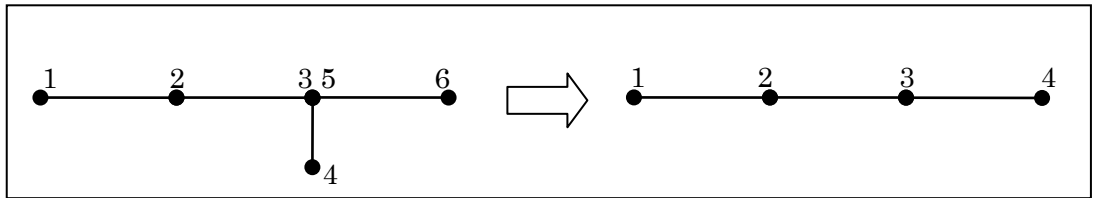
① 二重取得

ポリラインの点列が途中で始点側に戻ってくるタイプです。

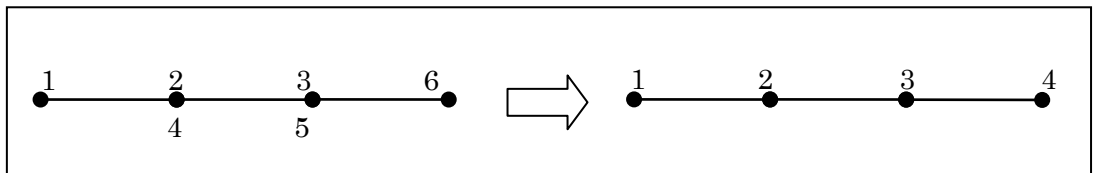




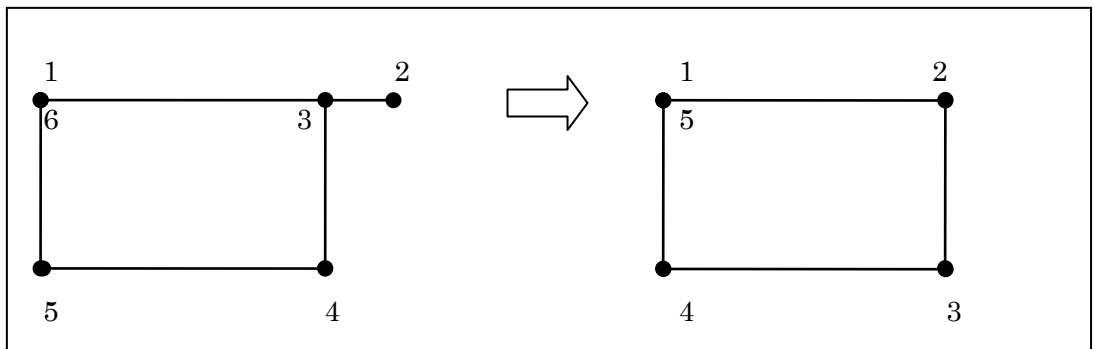
② トゲ(隣接する線分が重なっている)
点列の途中が重なっているタイプです。



見掛け上、トゲになっていなくても、一部が戻っているタイプも修正します

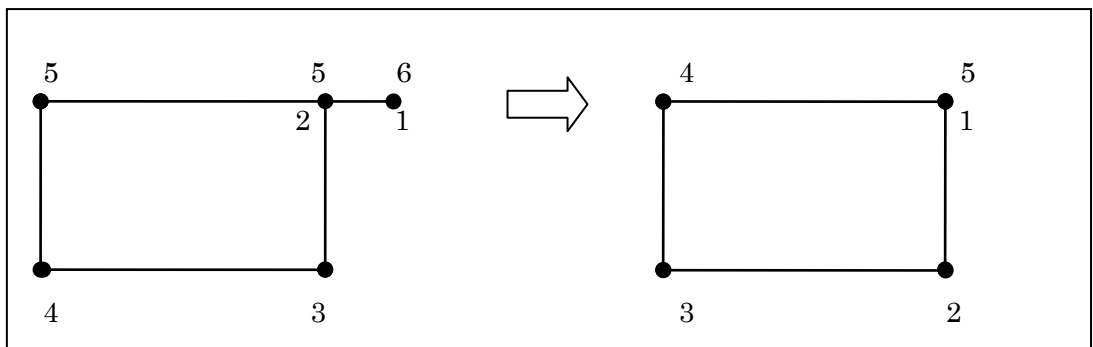


ポリゴンのとげも削除します。

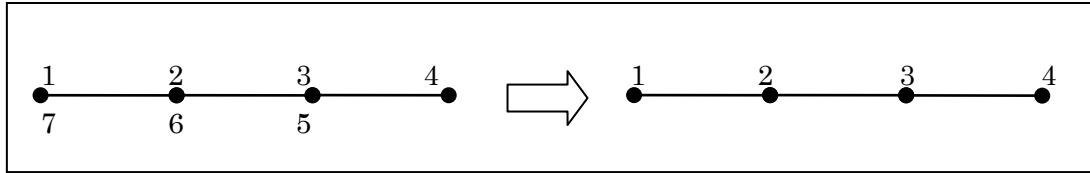


上図のように、線分の両点が全く同じ座標ではなく、線分の一部が重なっている場合でも、重なっている部分を削除します。

建物の外周線のようなポリラインのシェープファイルで、始点と終点が同じ座標で、面積がゼロでないものはポリゴンとして扱います。

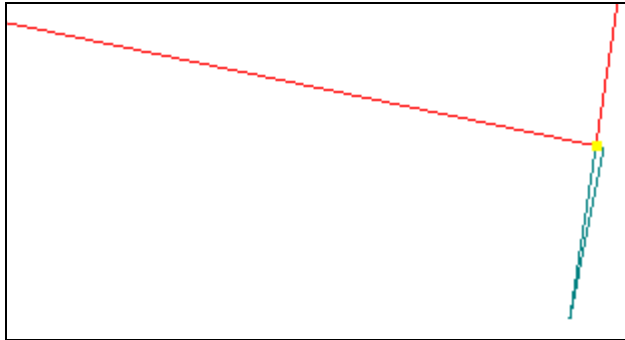


等高線のようなポリラインのシェープファイルで、始点と終点が一致していても面積がゼロの場合はポリラインとして扱います。



3.微小な三角形を削除する

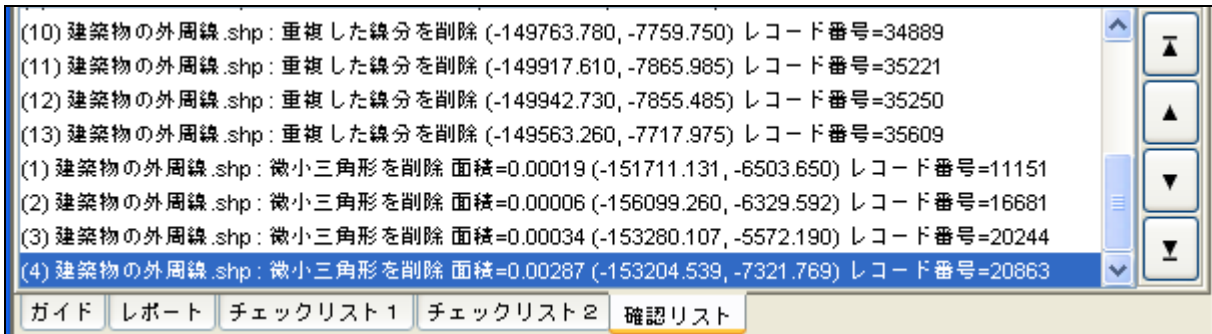
建物の外周線などで、角に微小な自己交差が発生している場合です。自己交差でできる形状が三角形で指定された面積よりも小さい場合、三角形部分を削除します。



[編集フラグ]をセットする

シェープファイルの属性[編集フラグ]がなければ付加し(値は 0)、線分を削除したシェープについて値 1 をセットします。

削除した線分と微小三角形は[確認リスト]にリストアップします。



ひと筆書きで図形が描かれている場合、形状が変わることがあります。[確認リスト]で、同じレコード番号が連続している場合、注意して確認してください。

